

授業科目	健康生活支援学概論				
担当者	藤岡重和・辻 郁・田坂厚志・足立 一				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	保健医療学研究科	学 年	1年or2年	総単位数	2単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

(藤岡) 健康に生活していくための支援の基礎知識として、病気にならないための方法論を感染予防、疾病予防の観点から学ぶ。感染・疾病予防に関する体内外環境の重要性を概説した後、感染症の疫学、微生物との関わり、感染防御機構、病態、検査と診断に関する基礎知識を習得する。また、代表的な感染症について、病原微生物と感染経路、臨床像、検査、診断と治療法を教授する。

(田坂) 疾病予防に関して、健康の維持・増進や廃用症候群の予防及び軽減を目的とした介入法に注目し、その効果について科学的な裏付けを模索する。

(足立、辻) リハビリテーション及び作業療法の側面から「健康生活」を捉え、幅広い健康の概念を事例から理解する。

## ■ 到達目標

(藤岡) 感染症と微生物の関わり、感染防御機構、感染症の病態と臨床像に関する基礎知識を習得し、感染予防について自ら考察できる能力を培う。また、生活習慣病についての発症機序を詳細に学び、それら経路に有効な天然成分とその作用機序を科学的に学び、健康維持・疾病予防に役立つ新たな知見を深める。

(田坂) 健康の維持・増進や廃用症候群について発症機序や身体機能に及ぼす影響を学び、健康維持や疾病予防に役立つ知見を深める。

(足立、辻) リハビリテーションからみた健康を理解し、疾病や生活障害の予防についての知見を深める。

## ■ 授業計画

- 第1回 感染・疾病予防の体内外環境の重要性、感染症の疫学 (藤岡重和)
- 第2回 微生物と感染症 (藤岡重和)
- 第3回 感染防御機構、感染症の病態 (藤岡重和)
- 第4回 感染症の検査、診断、治療 (藤岡重和)
- 第5回 呼吸器感染症、消化器感染症 (藤岡重和)
- 第6回 尿路感染症、性感染症、皮膚、粘膜の感染症 (藤岡重和)
- 第7回 高齢者の感染症、母子感染 (藤岡重和)
- 第8回 新興感染症、感染症トピックス (藤岡重和)
- 第9回 健康の維持・増進と廃用症候群 (田坂厚志)
- 第10回 関節可動域制限とリハビリテーション (田坂厚志)
- 第11回 リハビリテーションの視点からみた健康生活の概念 (辻 郁)
- 第12回 作業療法の視点からみた健康生活の概念 (辻 郁)
- 第13回 障害者の就労支援とスポーツ (足立 一)
- 第14回 高齢者の社会参加とスポーツ (足立 一)
- 第15回 まとめとディスカッション (藤岡重和・辻 郁・田坂厚志・足立 一)

## ■ 評価方法

(藤岡) 各講義での課題レポート 40% (各回レポートを100%で評価しその平均の40%) 筆記試験 10%

(田坂、足立、辻) 課題レポートと筆記試験各々 50%で評価し、最終評価は全講義数の割合で決定する

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

終了した講義について復習をしっかりとして下さい。

■ 教科書

■ 参考図書

適宜紹介する。

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって